

全レポート一覧表示 ▼			
日	本	大	学
文	理	学	部
国 文 学 科			




はじめに

調査概要

 面接調査



 アンケート調査

調査を終えて

-  アンケート (PDF)
-  面接用音調 (PDF)
-  面接用調査票 (PDF)

 このページを印刷 (印刷用PDF)

 Search

-  日本大学文理学部国文学科サイト
-  お問い合わせ

Copyright (C) 2011
 Department of Japanese Language
 and Literature.
 All right reserved.

遊びのことば

- ◎遊びのことば-「エンガチョ」
- ◎遊びのことば-「ジャンケン」
- ◎「カミフウセン」と「グッパ」の使用について
- ◎三川町における子どもの遊びとその道具について
- ◎その他の遊びについて

遊びのことば

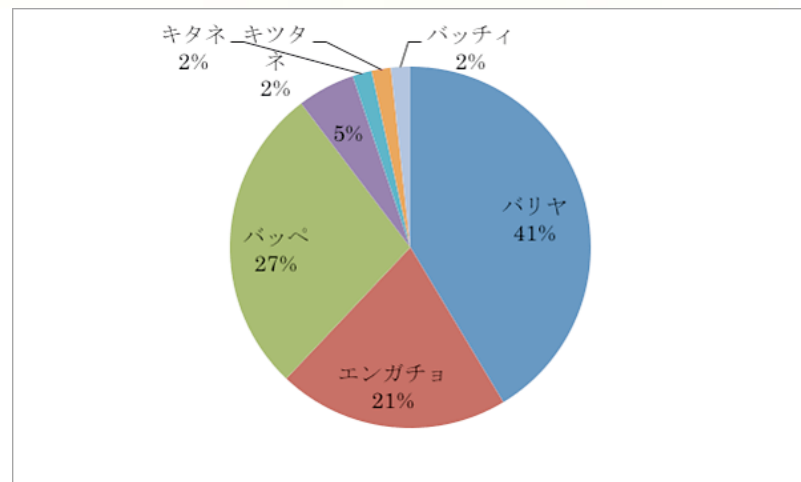
国文学科2年 木村 華子

1.目的と内容

「遊び」は、遊びの主体である子どもたちによって受け継がれ、その遊び方や遊びの名称、掛け声などは地域によってさまざまであるが、三川町ではどのような地域性があるかを調べることを目的とする。今回は汚いものや汚い物をさわった人にふれたときに、そのケガレの感染を防ぐためになえることばである「エンガチョ」について、三川町ではどのような言葉が使われているかを調べる。

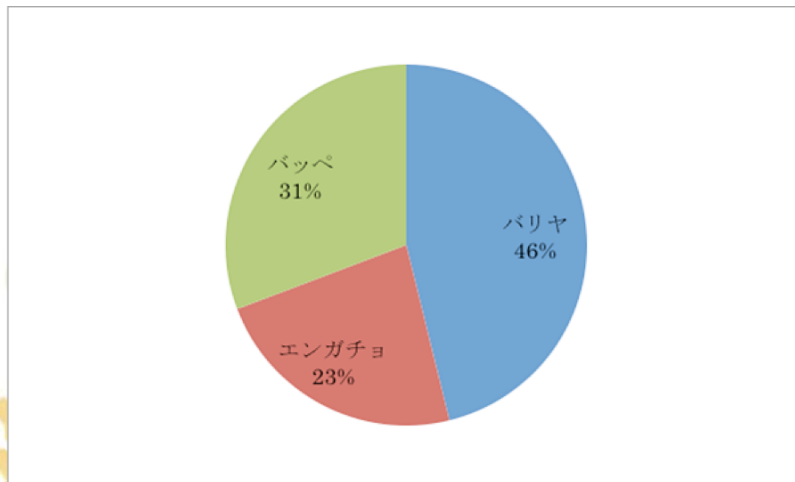
2.結果

「子どもが汚いものや汚い物をさわった人にふれたときに、そのケガレの感染を防ぐためになえることばは何ですか？」という質問に対し、自分が使ったことのあるものの名称を聞いてみた。結果は以下のとおりである。



もっともよく使われる語は「バリヤ」である。おそらくウルトラマンの影響であろう。使用者は主に20代～40代である。山形県独自と思われる「パッペ」は40代・50代・60代にそれぞれ2人・1人・1人という結果になった。

次に、使ってはいるが、三川町で聞いたことがあるものを回答していただいた。すると、以下のような結果になった。



山形県独自と思われる「バッペ」であるが、主に中年層の方が多く回答していた。中年層に多いと言うものの、一般的な「バリヤ」が上回っていた。しかし、聞いたことのあるもの、という質問に対しては「エンガチヨ」よりは上回っていた。全体的に見て、高年層の使用は少なく、中年層、ついで若年層の間で使われていることがわかる。

以上より、日本のことばシリーズ13「東京都のことば」の中の「遊びのことば」という章では、首都圏で同様の調査を行っているが、こちらも中年層・若年層の間で「エンガチヨ」や「バリヤ」の使用が多いとされている。このことから、あまり独自のことばは使われておらず、一般的なことばが使われていることが伺える。その中でも「バッペ」は全国には普及していないが、山形では使われる独特なことばであるということがわかる。

[ページTOPへ](#)